

注目トピックス

新しいエビデンス取得の手法として「免疫力年齢」が注目を集めている。目に見えにくい「免疫」の状態を定量的に数値化する手法で、東京医科歯科大学の廣川勝彦名誉教授と

「免疫力年齢」が注目集める

同大学講師の宇津山正典博士らが開発した特

許技術だ。免疫には、生まれつき持っている「自然免疫」と、後天的に獲得する「獲得免疫」が存在する。「自然免疫」と「獲得免疫」は密接に連携し、からだを守っているが、「獲得免疫」の働きは年齢とともに衰えることがわか

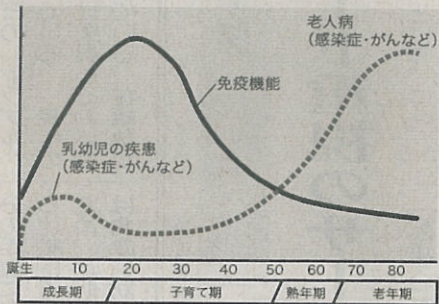
る。参考：「からだと免疫のしくみ」

2010年に廣川氏と宇津山氏らが特許を取った。「免疫力年齢」は加齢のほか、疲労、ストレス、睡眠、食事、生活習慣の状態などにも影響されるため、計測の結果、「免疫力年齢」が実年齢よりも10歳程度前後する場合も少ないという。定期的

に計測することで、日常の健康管理に役立てることができる。

血液中のT細胞の数などを計測できるクリニックも増えており、都内をはじめ、宮城、神奈川、千葉、埼玉、静岡、愛知、兵庫、広島、福岡といった各地の少なくとも28の医療機関で実施されている。人間ドックのメニューの一つとして盛り込んでいる医療機関もある。

加齢に伴う免疫力の変化



「免疫力年齢」だ。